

26春闘中央総決起集会
 みんなで行こう・集まろう！
 日時：3月5日(木)12時20分開会
 ところ：厚労省前歩道ほか
 E-mail lapaz@chihyo.jp
 URL http://www.chihyo.jp

TOKYO はたらく仲間

272

2026年2月15日
 (毎月15日発行)

発行 東京地方労働組合
 評議会(東京地評)
 定価 1部40円(送料別)
 〒170-0005 豊島区南大塚 2-33-10
 東京労働会館
 TEL 03(5395)3171
 FAX 03(5395)3240

26春闘 始まる 富の偏在、歪む経済ただす



労働組合主導で賃上げをすすめよう／大手町

物価高騰と円安が私たちの家計を直撃しています。物価は52カ月連続で上昇し、4年で約13%増加、物価と賃金を比較した実質賃金は12カ月連続で減少しています。

生活危機突破と解雇・長時間労働規制を骨抜きにする労働基準法改悪反対、憲法守れ、軍拡路線の転換のためにも、26春闘の勝利は極めて重要な意義を持ちます。中央行動を3月5日に行い、2千人以上の規模で大きく成功させます。回答指定日の3月11日、翌12日にストライキを構える統一行動を設定します。すべての仲間が歴史的26春闘に決起することを呼びかけます。

内部留保を国民の暮らしに 大企業は社会的責任はたせ

東京春闘と国民春闘は1月6日、2026年「新春宣伝行動」を都内5カ所、155人が参加。東京駅では、矢吹議長、茂呂議長(千代田春闘共闘)が弁士に立ち、アメリカのベネズエラ軍事進取を厳しく批判するとともに民族自決権に基づくベネズエラ国民の主権回復を求めました。池袋では川辺議長(北区労連)、新宿では伊藤議長(新宿区労連)、檜山常任執行委員(東京土建)が実質賃金を上回る大幅賃上げを勝ち取るために労働組合の結集、参加を呼びかけ



なかのZEROホールには102団体の組合旗が並んだ

ました。「春闘闘争宣言行動(1月14日)」には400人が駆けつけ、厚労省前行動を皮切りに、チンドン屋さん先頭に丸ノ内デモ、経団連前で包囲行動を展開しました。主催者の秋山代表(全労連議長)は、「大企業の労働分配率が低下を続け、下請単価も低く抑えられ続けて

いる。内部留保を国民の暮らしに活用すべきだ」と述べ、実質賃金が大幅にプラスになる賃上げを要求することを求めました。青年ユニオンの吉田事務局長は、回転寿司あ



適正取引の推進が必要(新宿駅南口)

の松本副委員長は、100万人国会請願署名に取り組み、建設業法などの担い手3法成立という成果に結びつけたことを報告しました。

最後に、「大企業は内部留保を賃金にまわせ！下請け単価にまわせ！」「黒字リストラをやめろ！」「大企業は社会的責任を果たせ！」と怒りのシュプレヒコールを響かせました。

全職場で要求書提出 春闘の風を吹かそう

国民春闘は1月28日(水)、「2026年国民春闘勝利・総決起集会」を開催し700人が参加しました。「国民の暮らしのために働きます、舌の根も乾かぬ中で国会解散

の暴挙に出た高市首相。東京春闘は26春闘前哨戦と位置づけ、労働法制の改悪を許さず、すべての労働者の賃上げ・底上げへの決意を固めました。矢吹代表は「3年連続

の賃上げ上昇は雇用者の7割を占める中小職場に波及していない。要求書を出して、交渉する。その取り組みなくして賃金は上げることができない。対話を広げ仲間を増やして立ち上がろう」と呼びかけました。

公務公共の必要性を訴えたのは、東京自治労連。保育園の給食調理事業者が変わり、混乱の中で契約中途で投げ出し撤退。子どもを守ろうと正規職員が応援に入って切り抜けた実話を守劇で披露。「公立保育の重要性」を訴え、公共を取りもどす春闘を確認しました。

三鷹市公契約条例制定



柳瀬議長

【武三地区労・柳瀬茂喜】三鷹市公契約条例議案が昨年12月19日満場一

致で可決されました。地元土建支部、ケア労働者などの悲願でした。条例は「賃金条項型」で受注者が報酬下限額以上の賃金を労働者に支払うこと

を義務付けるもので、対象労働者の就労環境改善につながることを期待したいと思えます。完全施行は令和9年4月となります。運用の実効性を高めるために地区労としてもしっかりと監視していきたいと思えます。一方、武蔵野市は「国の制度の中で遵守されるべきもの」として当面は自治体の動向を見ていくとしています。同市の条例制定に向けて取り組みを強めたいと思えます。

さて、武三地区労は昨年70周年を迎え1月30日

たたかう労組の旗守る決意



多摩青年合唱団のコーラスと前進座の「お祭り」

の舞で盛り上がりました。かつて60単組、1万3000人を抱え、地域には全金など多くの組合がありました。労働運動だけでなく文化・スポーツ大会にも力を入れていました。1980年代の労働戦線の再編の中で加盟組合は少なくなりましたが、たたかう労働組合として旗を守り、地域の仲間と次の10年に向けて頑張っていきたいと思えます。